



団体名：いっぽの木
代表者：早川 美紀
開催日：令和6年12月1日（日）
事業名：いっぽマルシェ
会場：総合体育館（グラウンド）
動員数：約 2000 人
補助区分：創出型 c
補助額：50 万円

❖❖日常的な団体の活動内容を教えてください。❖❖

子育てママ向けの交流会や講座、マルシェなどを開催しています。

❖❖補助金を活用しようと思った理由を教えてください。❖❖

「いっぽの木」は、“孤育てママを減らすきっかけづくり”を目的に活動しています。地域のつながりを深める場としてマルシェを開催しましたが、資金や会場運営の課題がありました。広報や運営を強化することで、多くの人に参加しやすい環境を整えて、地域のにぎわい創出に貢献したいと思い補助金を活用しました。

❖❖補助金の主な活用内容を教えてください。❖❖

主に、来場者向けお楽しみ企画の景品代や会場装飾に活用しました。また、より多くの方に情報が届いてほしいと思い、フライヤー・ポスターのデザインや印刷も充実させました。その他、保険加入費、消耗品費、警備委託費、イベント当日のスタッフのお弁当代など、幅広く補助金の対象としてもらえるのでとても助かりました。

❖❖補助金活用後のイベントの様子について教えてください。❖❖

団体を立ち上げて間もないため比較は難しいですが、当日は約 2,000 人が来場し、大盛況のうちに終了しました。補助金を活用したことで、駅や公共施設でのポスター掲示や広報ふそうへの折り込み、ホームページへの掲載、SNS での情報発信の支援をしてもらうことができ、より多くの方にイベントを知ってもらえたことで集客につながったと感じています。



⇩⇩イベントに対する周囲の反応や集まった声をお聞かせください。⇩⇩

「いっぽマルシェ」開催後、多くの好意的な声をいただきました。来場者からは、「子どもと一緒に楽しめるイベントでした。」「地域の新しいお店を知る機会になりました。」などの声が寄せられました。出店者からは、「多くのお客さんに商品を知ってもらえてよかった。」「出店者同士のつながりができた。」と大変好評でした。地域の協力者からも「町のにぎわい創出事業に貢献できた」との意見もあり、次回開催を望む声も多く聞くことができたので、開催してよかったと実感しています。

⇩⇩団体としての今後の展望を教えてください。⇩⇩

「いっぽマルシェ」は多くの方にご来場いただき、地域のにぎわい創出に貢献できました。運営体制の課題も見つかったこともあり、今後は、小規模な交流会や情報発信を通じて地域とのつながりを維持するとともに、団体のビジョンを整理し、持続可能な形で無理なく活動を続けていきたいと考えています。